

# 八重瀬町具志頭「ぐしちゃん福の木通り会」

交流  
部門

## フクギ並木と親しむふるさとづくり (平成17年度認定)



平成18年1月1日に本島南部の東風平町と具志頭村が合併し、「八重瀬町」が誕生した。具志頭地区は町の南部で東海岸に隣接している。

農業は、花き・野菜・さとうきび・果樹・畜産など多様に展開している。

国道沿いの約120m(71本)連なるフクギ並木は、樹齢400年と推定され、青々とした沖縄独特の良好な景観を作り出している。

平成14年にフクギ並木に散策道が完成したことをきっかけに、「ぐしちゃん福の木通り会」を結成。主に景観美化活動を行っている。

フクギは落葉や熟した実の落下が多いため、会は散策道の清掃日を毎月29日「ふくの日」としており、この活動には子どもからお年寄り、地域内外住民が広く参加している。

また、地域住民の所有地を休憩所として開放し、散策道と併せて交流拠点とし、フリーマーケットの開催やスポーツ・文化に関連した各種イベントを企画し、地域に訪れた都市住民との交流で、「フクギ並木と親しむふるさとづくり」を進めている。

また、平成17年3月に甘しょの拠点産地の認定を受けたこともあり、通り会では特産品の開発に取り組んでいる。

